

# 季刊 まち・コミ

2013年 夏号

● インフォメーション ● <http://park15.wakwak.com/~m-comi/>



今月の注目記事 P1 東日本大震災3年目生活再建と復興事業の現状 - 神戸での経験から -

## 東日本大震災3年目 生活再建と復興事業の現状

- 神戸での経験から -

「まちがなくなる」と、宮城県石巻市雄勝町の若者が神戸まで来られ、まち・コミが訪問して1年。今号では、現在の生活再建と復興事業の状況と、それを踏まえた活動の一部をお知らせします。

石巻市雄勝（おがつ）町について

宮城県の東部に位置し、東日本大震災の津波により大きな被害を受けました。震災前は人口4300人でしたが、現在は人口約1000人となっています。

注1)

### 生活再建の現状

最近の住宅再建地におけるニュースを見てみると、家を失った方々が、必死に再建の道筋をつけようと、葛藤している感じが感じられます。

1. ある浜の防災集団移転事業地区（石巻・船越の今～浜は、高台移転は...（仙台放送 東日本大震災特別企画 とともに 2013年4月27日放送）

『(略) 去年(2012年2月)の段階で、住



御輿を担ぎました

民達の合意を得て決まったはずの高台移転（防災集団移転事業）。建設予定地は1年経っても変わらないように見えます。地元住民「国有林で普通に考えれば早いのかと思ったがこの震災で国有林の払い下げを申請したのは船越が一番最初。かなり書類で精査しているみたい。この1年間で高台移転を希望する世帯数は、60世帯（2012年1月）から30世帯（2013年2月）ほどと半分減ってしまいました。何も形が見えてこないとそれが不安になって「他の地区に行った方が便利じゃないか」と思う人も出てきて、子供がいる親は子供の事を考えると学校の近くの方が良いのではという選択肢もある。少しでも早く形にして安心感を与えたい。（略）」

## 2. 内陸移転地の二子地区（読売新聞2013年5月30日朝刊）

石巻市雄勝町などの被災者の集団移転先となる同市（河北町）小船越の「二子地区」の地盤が脆弱で、造成が他の地域より1年ほど遅れ、2017年から始まることがわかった。市が26日、28日夜に開いた説明会で明らかにした。これに伴い、仮設住宅などでの生活は5年以上に及ぶことになり、（中略）市は6月にも、移転希望者への意向調査を再度実施し、工事の遅れによる移転辞退などがいないかを確認する。



木材作業

## まち・コミの神戸での経験から

復興事業に時間がかかると、個人は、生活再建を待てないため、当初の意向とは違う、さらに次なる再建方法を探し、移動が進む可能性があります（注2）。

住民は住宅再建の展望が見えないと、自身の再建で精一杯になり、“共に復興”という住民間の気持ちに齟齬が生じ、復興への悪影響を与えることもあります。ほとんどの人が、従前の地区を、出て行きたくて出て行っているのではない。まち・コミは、お互いの事情を少しでも知ることが大事であると考えます。（注3）

そのためには、

1. 住民が、内発的なことから地域への活動を始めること。（注4）

その上で、

2. 住民同士の互いの事情を斟酌した上で、地区の将来について考えることが大事だと思っています。

## 雄勝町でまち・コミが見た事例

市街地での活動の様子や、漁師作業もさせていただいている立浜のまちづくり等の様子を報告する。

### 1. 住民が内発的に始める行動



祭りにて久しぶりの再会

### 1 - a . 漁師が船をなくしてどうするんだ！

津波により、何もかも流され、避難所にて、漁師家族が、うちひしがれていた2011年5月、リーダーは言いました。「漁師が、船を無くしてどうするんだ！」と、皆が船を探し始めました。「(自分の船が)見つかって、(皆の船が全て見つかるまで)見つかったと思うな。」と。その浜では、復旧活動を通じて、多くのボランティアと共に(注5)に、浜の復興をしてきました。震災2年を経、震災前の漁獲量を取り戻しています。

### 1 - b . 集まれる場・自分の居場所をつくりたい！

まち・コミによるある方への聴き取りは、8時間×4日間に及びました。過去を語りながら、あるものを認識し、語り始めました。“自分の居場所や集まれる場をつくりたい”と、道具探し、木材伐採、木材の皮むき等を始めました。GWには、神戸・埼玉からボランティアも来て共に作業しました。その後もお一人でできる範囲で作業を進めておられます。

### 2 . 地区の住民同士の互いの事情を斟酌した上で、地区の将来を考えること

### 2 - a . 一人一人の事情を感じる

立浜協和会(地域組織)は、震災後の混乱時期からここ1年、ほとんど言葉を交わす機会がなく、コミュニケーションがとれていない方が存在することを気に向け、「一人一人の想いを聴こう」と、地区外転出せざる得なかった方々に声かけをし、仙台と石巻で集いを持ちました。それにより、2013年の祭り(伝統行事)には、連絡を受けなくても集まってきました。事情をお互い知っていると感じやすくなります。

### 2 - b . 時間による生活再建の各自の事情の変化を感じる

個人の生活再建や地域の状況は、日々変化しています。そのため、定期的に、地区を訪れることが大事であると思っています。そして、まちづくりのリーダーに振り返り返る機会をつくっています。住民が、地域周辺の復興や生活再建の状況を知るため、雄勝町周辺に、外部者が視察に来る場合、浜にも訪問していただきました(注6)。

訪問時には、資料も見せて頂き、バラバラになっている資料を、ストーリー毎に、共にファイルを作成し、すぐに振り返られるような支援もしています。

2年を経、まちづくりの時期に入り、災害ボランティア団体が、今後の活動を模索しており、相談を受けています。



若者(牡鹿-雄勝)同士の交流



まちづくりに取り組むボランティアの会議にアドバイザー出席



## まとめ

復興とは、住む場所の確保だけでなく、“災害により、失った社会的関係を取り戻していく過程”です。それを、まとめる一

つの視点が以前のまちの生活や人間関係を知ることだと思っています。そのデータを共に集め、住民自身の想いを表出させ、行動する環境をつくるのが大事であると考えます（月刊まち・コミ春号参照）。

---

## 【注】

注 1 ) 生活再建と復興状況の詳細は、同封の資料  
被災地の生活再建と復興まちづくりの現状と葛藤

東日本大震災石巻市雄勝町における防災集団移転促進事業を事例として  
(日本住宅会議 2012 年 10 月発行会報)

<http://xfs.jp/VIFFT>

『住宅会議編 住宅白書 2011 - 2013』にも、一部執筆させていただきました。6 月中旬出版予定。

注 2 ) 参考資料 2 点

復興土地区画整理事業における権利関係・建物用途に着目した再建動向に関する研究  
- 神戸市御菅西地区におけるケーススタディ -

(日本建築学会計画系論文集 2012 年 3 月)

<http://park15.wakwak.com/~m-comi/project/06/miya/120301.pdf>

都市型災害時における従前居住者用賃貸住宅の入居プロセスに関する研究

- 阪神・淡路大震災復興土地区画整理事業地区(神戸市)の事例を通じて -

(日本建築学会計画系論文集 2012 年 7 月)

<http://park15.wakwak.com/~m-comi/project/06/miya/120221.pdf>

注 3 )

室崎益輝教授(日本災害復興学会前会長)は、「“みんなの復興”をいかにはかるか 被災地のみんなが一人残らず復興できるよう、仮に住む場所が離れ離れになったとしても、復興についての立場や状況さらには考え方の違いを乗り越えて、今まで通りの互いに支え合う関係性を大切にしたいと思う。」と書かれている。(2013.5.25 荒浜フォーラム)

注 4 )

阪神・淡路大震災 18 年間をみて、住民の想いから始まる自発的な行動でないと、自分達でコントロールできず、継続運営できない。

注 5 )

さんりく海の幸支援制度石巻・雄勝・立浜復興プロジェクト

<http://www.ogatsu-tachihama.net/>

注 6 )

雄勝町周辺をご案内した方々(約 80 名)

<http://machicomi.blog42.fc2.com/blog-entry-2033.html>



活動報告

詳しくは「まち・コミブログ」にて  
<http://machicomi.blog42.fc2.com/>

震災体験学習を実施

2001年から継続しておこなっている、小・中・高校生対象の「震災体験学習」。今年は4月以降6月までで11校が来訪し、スライドを見て、語り部さんのお話を聞き、まち歩きをしました。阪神・淡路大震災の経験を、多くの子どもたちやご家族に生かしてほしいです。

ブログカテゴリ： 阪神・淡路大震災体験学習（修学旅行）受入



震災体験学習

東北被災地の方々も、視察に来られています

岩手県釜石市や岩手県陸前高田市上和野町内会のみなさまが神戸に来られ、まち・コミが関わってきた御菅西地区の復興まちづくりを視察されました。また、防災にご興味がある企業からの研修申し込みやお問い合わせが増えています。

ブログカテゴリ： まちづくり視察・研修受入



上和野町内会

宮城県曹洞宗青年会のみなさまがお越し下さいました

3月25日、阪神・淡路大震災に関するお話しの後、御蔵北公園の慰霊碑前にて読経していただきました。

ブログカテゴリ： まちづくり視察・研修受入



宮城県曹洞宗青年会

大地のつぶやき

病を得て知る

連休中は東日本石巻市雄勝町に行つて木材の皮むき作業の手伝いをやり、戻つては豊岡市出石町で玉葱やジャガイモの草抜き作業で終わった。明けて五月七日〜五月十四日、明石医療センターに入院した。四人部屋で入院や転室があつて都合七人と出合った。退院の前日入院してきた五十代を除き、六人は八十代の人だった。心臓血管病棟なので、高齢者は大変だ。でも医学の進歩で寿命が伸びているのが実感できる。南あわじ市から来ている隣の人はペースメーカーの埋め込み手術があるのだが、気管支炎を患つていてそれを治してからなので、二十日間の入院になるといふ。病室の中は耳の遠い人ばかりで看護師さんも大変だ。外からは喧嘩でもしているのかと間違ひそう。点滴のパイプを押さえ込んでシグナルが鳴つても気付かず代わりに看護師を呼ぶこともあつた。七十代で一番若いのだから当然の役目だろう。血液検査から管理栄養士さんに塩分の取り過ぎと懇々と諭される。後から入つてきた元県警捜査1課のベテラン刑事も戦争末期の若い頃は呑めなかつたのに、一件落着の度に呑むようになって強くなり、遂には糖尿を患い今では週三回の透析に通つていふという。脳卒中、心臓病、糖尿病は生活習慣病と呼ばれて久しい。食事や運動など日頃から自己管理でき行動を変えれば病から遠ざかるはずなんだが…。入院中の病人食は量も少なく、味気もない。これを守り通したら入院時の七十四 kgの体重が退院時には七十一 kgになつてた。医食同源とはこのことか。口から入るものが毒にも薬にもなる。食事の次は運動だろう。入院三日目から六階の階段の昇降を課した。トイレも早朝に一階を使った。薬に頼るのは最後の手段だろう。私の一週間後に退院された南あわじ市の人から遊びに来てくれと電話があり、週末に自宅へ伺い、旧交を温めた。僅か一週間余りだったがこんなに親しくなるなんて驚きだ。昼飯を一緒に食べたが粗食ではなかつた。何だか何十年來の知人と旧交を温めた様な気がした。出会いは年齢や場所を問わないので人生は面白い。

株式会社兵庫商会 田中保三

# まち・コミ活動報告 3/1～5/31

- 3/3【講師派遣】福井県磯部地区(田中)
- 3/3-3/8【国際交流】台湾行き
- 3/9【講師派遣】天王寺防災講演(田中)
- 3/13【震災学習】上越市立雄志中
- 3/15【研修受入】パレスチナ・ガザ地区行政職員(JICA)
- 3/15【研修受入】神戸大学ボランティア講座
- 3/15-4/17【復興支援】東北行き
- 3/16【地域交流】出石市民農園作業
- 3/16【講師派遣】箱崎地区(釜石市まちづくり交流会)
- 3/25【研修受入】釜石より視察研修
- 3/26【地域支援】宮城県曹洞宗青年会来訪
- 3/30【地域交流】出石市民農園作業
- 4/9【震災学習】2013年度打合せ
- 4/13【講師派遣】日本弁護士会(宮定)
- 4/14【震災学習】香南市立夜須中
- 4/15【震災学習】郡山市立喜久田中
- 4/18【研修受入】トヨタテクニカルディベロップメント
- 4/18【震災学習】新潟市立赤塚中
- 4/23-5/21【復興支援】東北行き
- 4/23【講師派遣】関西大学(戸田)
- 4/24【震災学習】新潟市立月潟中
- 4/25【震災学習】袋井市立浅羽中
- 4/26【震災学習】金沢市立小將町中
- 5/6【地域交流】出石市民農園作業
- 5/11【震災学習】津野町立東津野中
- 5/18【研修受入】岩手県の町内会
- 5/21【震災学習】四万十市立中村中
- 5/22【講師派遣】関西大学(宮定)
- 5/24【震災学習】倉敷市立琴浦中
- 5/25【震災学習】小田原市立国府津中
- 5/25【講師派遣】新潟県医療ソーシャルワーカー協会
- 5/26-【復興支援】東北行き
- 5/30【講師派遣】下関市立長府中

## ご支援、ありがとうございます。3/1～5/31(新規・継続) 順不同・敬称略

- 【賛助会員】株式会社太陽商会(兵庫県) 渋谷光延(兵庫県) 寺田孝(兵庫県) 松山幸子(兵庫県) 執行康平(長崎県) 熊坂ひろ子(東京都) 岡宗秀樹(兵庫県) 萩舎(兵庫県) 岡田凌太(兵庫県) 小林敏信(兵庫県) 小森幸平(兵庫県) 竹内鉄工所(兵庫県) 宇野健一(東京都) 服部隆志(大阪府) 池田浩敬(静岡県) 河喜多勝(福岡県) 神坪浩喜(宮城県) 木村徹(広島県) 阿部花子(宮城県) 有限会社白鳥・アソシエイツ(宮城県) 西堀喜久夫(愛知県) 武山ゆかり(東京都) 青池憲司(東京都) 和田幹司(兵庫県) 荒木正昭(熊本県) 赤松愛子(兵庫県) 宇都彰浩(宮城県) 若井正章(兵庫県) 有馬嗣朗(山口県) 大橋良雄(愛知県) 笹岡賢司(静岡県) 高宮城幸雄(兵庫県) 梅田和江(埼玉県) 小林恵美子(京都府) 田中邦彦(兵庫県) 川岸梅和(千葉県) 平山勝廣(埼玉県) 相澤博司(宮城県) 相澤千恵子(宮城県) 相澤妙子(宮城県) 相澤遼太郎(埼玉県) 服部光晴(奈良県) 有限会社ミナト興産(兵庫県) 松山真(埼玉県) 小野寺宏一(宮城県)
- 【購読会員】福島かずえ(宮城県) 野口哲夫(東京都)
- 【協力】社団法人シャンティ国際ボランティア会(東京都) 株式会社兵庫商会(兵庫県神戸市) 味六亭(宮城県石巻市)

### 会員募集中!

認定NPO法人申請を目指し、より多くの方に賛助会費もしくは3,000円以上のご寄付をお願いしています。認定NPO法人になると、寄付者は税制上の優遇措置を受けることができますようになります。(正会員と購読会員は寄付者に含まれません)

さらに活発な活動を行うため、会員を募集し、資金面でのご支援をいただいています。

また、会員は1年更新とさせていただきます。現在会員の方も時期がきましたら、更新をお願いいたします。(期限は「季刊まち・コミ」郵送時の封筒の、宛名ラベルに記載していますので、ご確認ください。)

### 会員種別

- 賛助会員**  
当法人の事業を、会員として賛助してくださる方  
年会費：5,000円(学生3,000円) 総会議決権：なし
- 正会員**  
当法人の目的に賛同し、ご入会くださる方  
年会費：10,000円 総会議決権：あり  
入会申込書のご提出をお願いしております。
- 購読会員**  
当法人発行の「季刊まち・コミ」購読希望の方  
年会費：3,000円 総会議決権：なし

編集後記 高速長田駅山陽長田ビル(マクドナルドが入っていたビル)が老朽化のため、地下や一階の飲食店が無くなっています。さみしいなあ。(戸)

### お振り込み先

名称 特定非営利活動法人まち・コミュニケーション

#### 【郵便振替】

口座番号 00950-3-42788

#### 【三井住友銀行・長田支店】

普通口座 7669623

ご寄付もよろしくお願いたします

2013年6月1日発行 no.3  
 編集/発行 特定非営利活動法人  
 まち・コミュニケーション  
 事務所 〒653-0014  
 兵庫県神戸市長田区御蔵通5-211-4-101(みくら5)  
 TEL 078-578-1100 / FAX 078-576-7961  
 東北出張所 〒986-0859  
 宮城県石巻市大街道西1-14-101 味六亭 相澤様方  
 e-mail m-comi@bj.wakwak.com  
 URL http://park15.wakwak.com/~m-comi/

ホームページからバックナンバーをご覧くださいませ